

(証券コード7208)



第 32 期 株 主 通 信

平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日 まで



Altering Now Shapes the Future

今を見つめて 未来を創る

株主の皆様におかれましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

「カネミツは技術を尊び技術でOnly-Oneを目指す」
「カネミツはOnly-One技術で“安全”と“環境”に貢献する」

を経営の基本理念としオンリーワン製品の開発に取り組み、主力商品である自動車用鋼板製プーリならびにプーリ事業で培った技術を応用した製品の製造、販売を通じて、株主、取引先、従業員、関係先等全てのステークホルダーにとって存在価値のある企業を目指していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の経営に対する深いご理解、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **金光俊明**



株主の皆様へ

総売上高は7,955百万円となり 過去最高を更新

当連結会計年度における日本経済は、消費税率引き上げの影響はありましたが、企業収益や雇用情勢に改善がみられ、緩やかな回復基調で推移しました。

自動車業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減等から販売が低迷し、国内販売台数は529万台と前年を下回る結果となりました。

こうしたなか、当社グループは、アジア市場での生産体制の強化と拡販体制の整備を進め、主力商品プールのグローバル競争力の強化を推進するとともに、次代商品の研究、開発に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は総販売数量52,195千個（対前期比5.7%増加）、総売上高は7,955百万円（対前期比7.7%増加）と増収になりました。利益面では、営業利益643百万円（対前期比6.6%増加）、経常利益657百万円（対前期比5.9%増加）、当期純利益538百万円（対前期比25.7%増加）と増益になりました。

地域別では、日本は売上高が5,372百万円（対前期比2.3%増加）の増収となりましたが、新商品事業関連費用の増加等から、営業利益は198百万円（対前期比1.1%減少）となりました。タイは、同国の生産台数が前年比2割以上減少する中、売上高は2,080百万円（対前期比12.2%増加）の増収、新工場立ち上げ費用の増加等から営業利益は131百万円（対前期比36.8%減少）となりました。中国は新規納入品の量産等が寄与し、売上高が1,078百万円（対前期比41.3%増加）となり、営業利益は229百万円（対前期比59.1%増加）となりました。

第32期期末配当は9円（1円50銭増配） 第33期年間配当は18円を予定

第32期の1株当たりの期末配当につきましては、9円とすることといたしました。これにより当期の年間配当は中間配当7円50銭と合せて前期比1円50銭増の16円50銭となりました。

第33期（次期）の年間配当につきましては、中間期末とも1株当たり9円とし年間18円を予定しております。

平成27年3月期 連結業績

売上高	7,955百万円（前期比7.7%増）	経常利益	657百万円（前期比5.9%増）
営業利益	643百万円（前期比6.6%増）	当期純利益	538百万円（前期比25.7%増）

リサーチセンター(長崎市)を竣工しました



リサーチセンター外観

平成27年5月22日 リサーチセンター(長崎市)の竣工式を行ないました。
当日は長崎県知事 中村法道様、長崎市長 田上富久様をはじめ約70名の関係者の方々
にご参列いただき、竣工披露を行ないました。

リサーチセンター概要

所在地：長崎県長崎市北浦町2885-1

建物面積：約1,000㎡

目的：金属塑性加工等の研究開発



エントランス

■ 竣工式の様子



当日はさわやかな天候に恵まれた中でテープカットが行なわれ、無事竣工式を執り行ないました。



竣工式終了後、地元の長崎市立茂木中学校の全校生徒を招き、リサーチセンターの施設見学会を行ないました。

長崎工場の建設工事を着工しました

エアバッグ部品の増産体制を整備するため平成27年3月に長崎工場の建設工事を着工しました。
兵庫県外の生産拠点としては国内初となります。

長崎工場概要

所在地：長崎県長崎市北浦町2885-1

建物面積：約1,600㎡

竣工：平成27年8月予定

生産品：エアバッグ部品等

事業内容：金属塑性加工品の生産



建設工事中の長崎工場



長崎工場外観（完成予想図）

インドネシア子会社の工場が完成しました

インドネシア子会社PT. KANEMITSU SGS INDONESIAの工場が完成しました。
経済成長が続くインドネシアの国内需要に応えるため、早期稼働に向け準備を進めてまいります。



外観写真



生産ライン

【インドネシア地図】



PT. KANEMITSU SGS INDONESIA概要

所在地：インドネシア西ジャワ州ブカシ市
設立日：平成26年10月15日
資本金：US\$1,600,000
出資比率：PT. SETIA GUNA SEJATI 49%
株式会社カネミツ 48%
JFE商事株式会社 3%

プーリ事業



エンジンに取り付けられたプーリ

■プーリ事業

アセアン地域および中国市場での拡販のためタイのKTTC（タイランド・テクニカルセンター）への開発機能移管を進めてまいります。

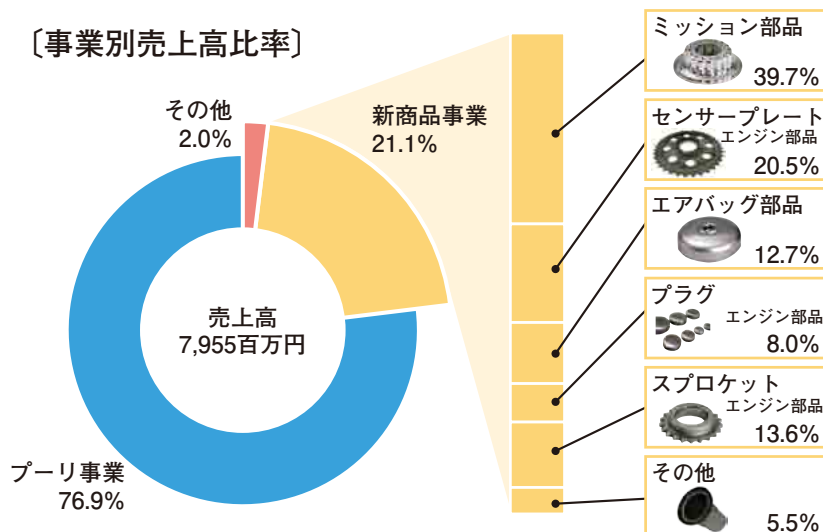
■新商品事業

新しい事業の柱を確立すべく、当社独自の塑性加工技術を駆使した新商品の開発を進めてまいります。

当社独自の薄鋼板製の軽量プーリ。
 今後はアジアでの更なる拡販を目指します。

売上約8割を占める当社の主力商品プーリは、自動車や農業機械などのエンジンの動力伝達に欠かせない機能部品です。一枚の薄鋼板から製品を一体成形する独自のプレス加工と回転成形技術は当社のOnly-One工法であり、高品質、低コストの製品づくりを実現しています。

〔事業別売上高比率〕



新商品事業

プーリで培ってきた技術を応用し、
 新商品事業へ展開していきます。

カネミツでは、急速に進む自動車のHV・EV化への変化に対応し、主力であるプーリ事業に加え、プーリ以外のエンジン部品、エアバッグ部品、ミッション部品などの新商品事業を展開してまいります。

また、回転成形法とプレス加工を両輪とする独自の「金属塑性加工技術」「金型・設備の開発」を当社の強みであることを再認識し、お客様に喜んでいただける商品の開発を進めてまいります。



スプロケット (エンジン部品)



インフレーター (エアバッグ部品)



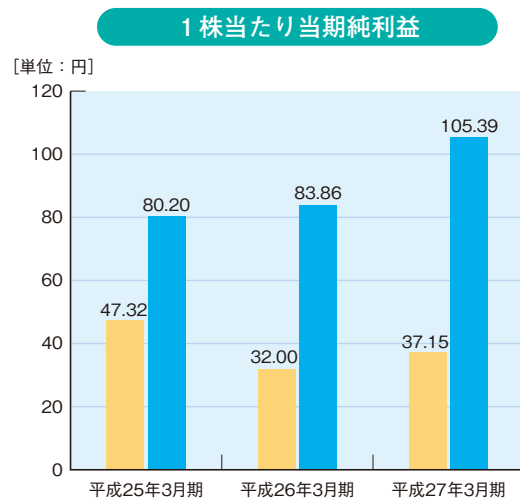
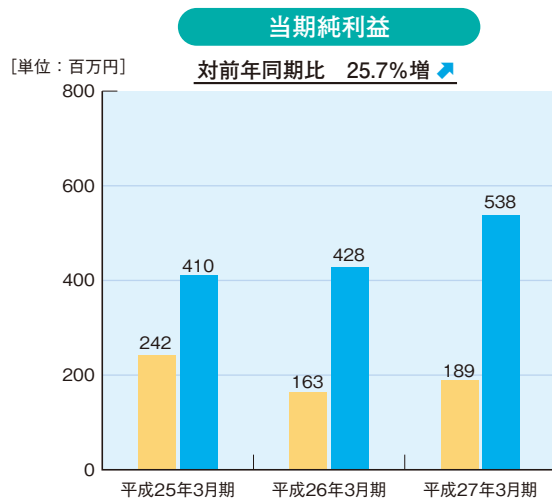
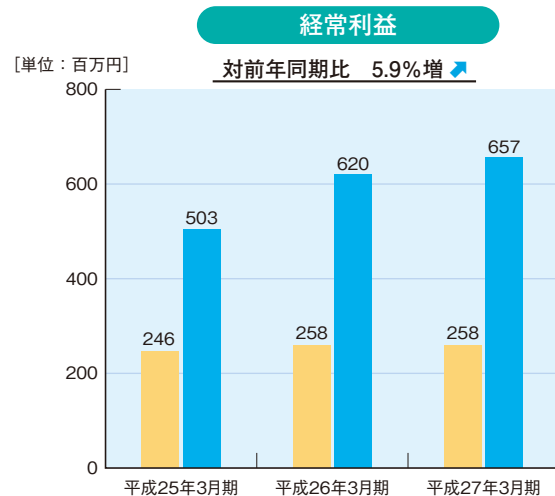
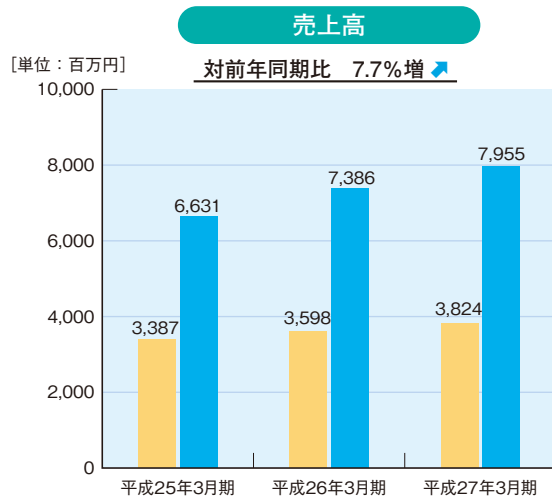
センサープレート (エンジン部品)



ピストン (ミッション部品)

連結業績の推移

■ 第2四半期 ■ 通期



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

[単位：千円]

	当連結会計年度末 (平成27年3月31日)	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)
資産合計	11,323,113	10,260,284
負債合計	3,817,606	3,533,740
純資産合計	7,505,507	6,726,543
負債純資産合計	11,323,113	10,260,284

連結損益計算書(要旨)

[単位：千円]

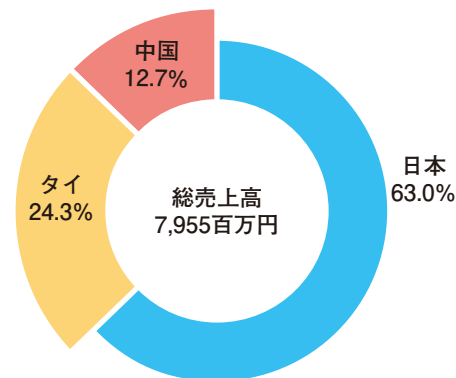
	当連結会計年度末 (平成27年3月31日)	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)
売上高	7,955,454	7,386,134
売上総利益	1,962,636	1,885,843
営業利益	643,587	603,984
営業外収益	96,459	64,109
営業外費用	82,960	47,614
経常利益	657,086	620,478
特別利益	136,694	4
特別損失	12,076	6,166
税金等調整前 当期純利益	781,704	614,315
当期純利益	538,893	428,817

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

[単位：千円]

	当連結会計年度末 (平成27年3月31日)	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	720,055	675,635
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,020,552	△858,056
財務活動による キャッシュ・フロー	32,295	273,011
現金及び現金同等物に 係る換算差額	55,772	87,693
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△212,428	178,282
現金及び現金同等物の 期首残高	1,360,637	1,182,354
現金及び現金同等物の 期末残高	1,148,208	1,360,637

地域別売上高構成



地域別売上高

[単位：千円]

		当連結会計年度末 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
日本	外部顧客への売上高	5,013,644
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	359,350
	計	5,372,995
タイ	外部顧客への売上高	1,931,338
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	148,853
	計	2,080,191
中国	外部顧客への売上高	1,010,471
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	68,175
	計	1,078,646
調整額		△576,378
計(連結)		7,955,454

株式の状況

発行可能株式総数 17,000,000株
発行済株式の総数 5,119,477株

大株主(上位10名)

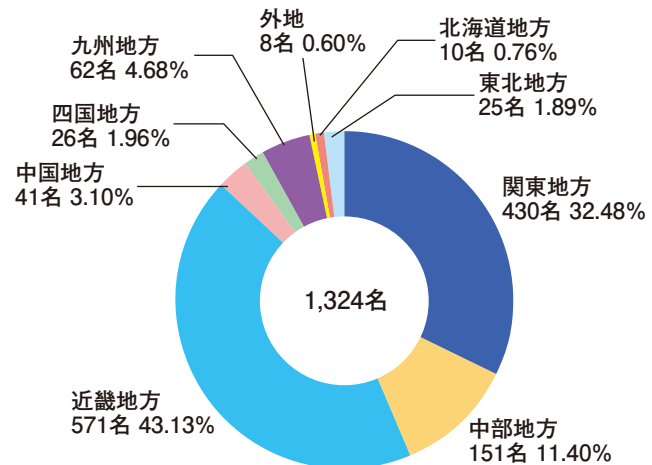
株主名	持株数	持株比率
カネミツ従業員持株会	610千株	11.94%
大阪中小企業投資育成株式会社	348千株	6.81%
金光俊明	331千株	6.47%
金光之夫	294千株	5.75%
金光正弘	204千株	3.98%
バンドー化学株式会社	141千株	2.76%
金光秀治	141千株	2.75%
明治安田生命保険相互会社	136千株	2.66%
日本生命保険相互会社	136千株	2.66%
JFE商事株式会社	119千株	2.33%

(注) 持株比率は自己株式数(6,157株)を控除して計算しております。

会社の概況

商号	株式会社カネミツ
本社所在地	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
創業	昭和22年1月10日
設立	昭和25年12月27日
資本金	551,099,642円
代表者	代表取締役社長 金光俊明
従業員数	209名(単体) 550名(連結)
事業内容	自動車、農機用プーリ、 その他金属塑性加工品の開発、 製造および販売
工場	兵庫県(明石市・三木市・加西市)
研究所	兵庫県(加西市)、長崎県(長崎市)
営業所	埼玉県(さいたま市)、愛知県(刈谷市)
子会社	KANEMITSU PULLEY CO., LTD.(タイ) 佛山金光汽车零部件有限公司(中国) PT. KANEMITSU SGS INDONESIA(インドネシア)
関係会社	JBM Kanemitsu Pulleys Private Limited(インド)

所在地株主数分布図



役員の状況

(平成27年6月25日現在)

代表取締役社長	金光俊明
取締役	大西将隆
取締役	金光秀治
取締役	藤井直樹
取締役	竹治康公*
取締役	林隆一*
常勤監査役	高橋康弘
監査役	阪東浩二**
監査役	上原健嗣**

*会社法第2条第15号に定める社外取締役を示しております。
**会社法第2条第16号に定める社外監査役を示しております。

■ 株主メモ

証券コード	7208
証券取引所	東京証券取引所市場第二部
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会基準日 3月31日 剰余金の配当基準日 期末3月31日 中間9月30日
株主名簿管理人 同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL：0120-094-777(通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 当社ホームページ (http://kanemitsu.co.jp/ir/library.html) ただし、不測の事態により電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。
単 元 株 式 数	100株

【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。